

床モルタル塗り施工要領書(案)

平成12年8月

日本床施工技術研究協議会

床モルタル施工要領

【チェックポイント】

【工 程】

【施 工 要 領】

施 工 計 画

1. 塗り下地の吸水性
仕上材(目的)の確認
2. 荒目砂が好ましい。
吸水調整材の仕様の確認
3. 容積比として
モルタル表し セメント 1 : 砂 2.5
仕上物下地 セメント 1 : 砂 3

寒冷時(2℃以下)施工の養生
通風、日射によるドライア外の養生
5. 塗り厚は30m/mを基準として
±10m/m。
レイクス等不具合部分処理法の
決定。

1. 設計図書の確認
2. 使用材料の決定
3. 調合
4. 工程、工期の検討
5. 下地の検討

墨 出 し

1. 建具、取合いの納まりを優先する。
2. 2mピッチ程度

1. 図面の検討
2. モルタルコマの当たり出し作り

下 地 の 処 理

1. 状態により目荒等の処理
... 掃除機でホコリ迄吸い取る。
3. 表面の汚れを洗い流す。
4. 塗布量のバラつきが利離の原因
となる。

1. 下地の補修
2. 清掃
3. 水洗い
4. 吸水調整材塗り

混 練 り

1. 分量のチェック
2. 可使用時間 1時間以内
再加水して練り直しは不可

1. 調合表の確認
2. モルタルミキサーによる攪拌

塗り付け

1. 定木当て、木鏝摺りが最終仕上げ精度となる。

1. 固練りモルタルで取り付け物や当り出しに合わせて、片押しに定木を当てながら、木鏝摺りをして平滑に塗り直す。

仕上げ

1. 人が乗って足跡が沈まない。
木鏝押え → タイル貼り下地
刷毛引 → ノンスリップ目的
金鏝押え → Pタイル等

1. 硬化を見計らい、ゲタ等の上に乗る木鏝で小ムラを抜きながら、目的に応じ、金鏝、木鏝、刷毛引等の仕上げとする。

養生

1. 立入り禁止 3日程度
2. 寒冷時の保湿
日射、通風によるドライ外

1. 立入り禁止措置
2. 自然条件からの保護